

一般質問



令和5年度予算編成方針について



無会派 ● 加藤 貞一郎 議員

問 「働き方改革」の推進を図る観点から、各部署においては、ワークライフバランスが保てるよう、事務の合理化や事務量の見直しを図るとされているが、具体的な各部署の人員配置および事務量の見直しの考え方についてお尋ねします。

答 現在、実施している行政事務調査を基に抜本的な事務事業の見直しに取り組み、民間へのアウトソーシングなども念頭に置いた業務改革を行うことでさらなる働き方改革が進められるよう適正な人員配置に努めたいと考えています。

問 補助費の抜本的見直しについては、交付の条件である「公益性」について改めて見直しを行うとともに多額の繰越のある補助団体においては、歳入戻入による清算を原則とし、

補助団体での繰越を原則認めないとする、に至った理由についてお尋ねします。

答 補助金交付については、時代の移り変わりとともに社会のニーズや必要とされる政策も変化することから継続して補助金の交付を行うことへの妥当性や効果を定期的に検証していく必要があるとの考えに基づき、有識者等で構成する外部委員会において、支出根拠の不明確な補助金の精査も含め、抜本的な補助金の見直しを行っていきます。

問 突発的な自然災害が発生した時に、必要となる財源を確保するための「災害対策基金」の新設についてお尋ねします。

答 基金の創設については、今後必要に応じて検討していきます。



平時有事問わず 市内3体育館の有効活用を！



無会派 ● 藤川 みゆき 議員

問 総合体育館の小アリーナが日当たりが悪く、冬場は特に冷え込みがひどいと聞きます。気温が低いと、関節や筋肉の動きが不十分になり、ケガを誘発しやすいと考えられます。また春に通い始めた子ども達が冬のシーズンに行き渋り、そのまま辞めてしまう原因にもなっています。冬場の災害の備えとしても市内体育館に暖房器具の設置が必要かと思いますが見解を尋ねます。

答 4中学校にも暖房器具を2台ずつ配置していることから、総合体育館、雨山体育館、雨山第二体育館、水戸体育館の順に配置を検討したいと考えます。

問 雨山運動公園は携帯電話の電波が弱いと聞いています。特に雨山体育館の中は電話が通じないので、競技中

のケガなどの連絡が困難です。災害時の「指定避難所」になっていて自衛隊などの受け入れやヘリポートの役割も位置付けられています。平時においても有事においても携帯電話は必要な伝達手段なので、電波についての対処方法はされているのかお尋ねします。

答 毎年度、近畿通信局無線通信部のエリア外調査があり、NTTドコモ、KDDI、ソフトバンク、楽天モバイルのどれかの電波が入ると整備地域に該当しないため、対策ができていないのが現状です。

電波の良い携帯会社を周知したり、Wi-Fi環境を良くするなどの対策を提案しました。